



大津絵巻

大津唄の歴史

日本一のつつじの里大津

ご挨拶

このたび、記念CDの制作にあたり、ふる里の歌を選曲する中で、大津祭り唄として現存する4曲を70年振りに吹き替えし、新たに大津町観光のPRと共にその時を生き抜いて来た方々に昔を懐かしみ、笑顔になって戴ければとの思いで制作致しました。

なお、祭りの歴史を探求する中で、つつじとそれに携わり、「日本一のつつじの里大津町」に尽力された先人の方々の郷土愛に敬意を表し、私たちはこの大地に生き付いて花を咲かせ歴史を作ったつつじ園に新しい息吹を吹きこみ、ふる里大津町を活性化しなくてはいけないのではと思いました。

今回のCDは大津絵巻と題し、「大津小唄」と秘蔵の「つつじ小唄」「花の大津」「大津音頭」の4曲で、どの歌も大津町の歴史と名所を語っています。

アレンジは東京在住三味線シンガーソングライター 神井大治（高見広治）

阿蘇市産山村 作曲家、演奏家、マヤムガモーラン (M.M.Moeran)

どうぞ末長く御聴愛戴ければ幸いと存じます。

令和五年一月吉日

高見 春代

「大津つつじ祭りの始まり」

大津町史

大正11年9月6日 日吉神社は火災で焼失。

神苑日吉つつじ（日吉神社由緒書）

当社はつつじの宮と親しまれ、神苑のつつじは「日吉つつじ」の名で知られています。幕末肥後の国学者中島広足大人は、「郷人のささぐるまこと 色にいでぬ みそのつつじおもはゆるまで」とつつじの美しさを詠まれました。

現在のつつじは、神慮を慰め、かつ町民の憩いの場をめざした御遷座記念境内整備事業の一環として、植付けられたものです。

昭和二年、当社の御遷座に先立って細川家吉田流作庭家 長谷川氏の指導を仰ぎ、宇野忠吾奉賛会長（大津町長）はじめ、敬神の念篤い氏子町民、崇敬者の勤労奉仕によって、つつじ三千数百本が出葉紅葉、一行院楓、染井吉野桜などを交えて植えられました。

戦後、町内大松山、昭和園にもつつじが移植され、日吉神社のつつじは、「つつじの町大津」の象徴として県下に広く知られるところでした。

大津町史

昭和3年4月18日 日吉神社が現在の東嶽城址に遷宮

御遷座記念祭（つつじ祭り）を神苑一帯のつつじの開花に合わせて開催

昭和9年12月 九州新聞主催「火の国郷土名物投票募集」に応じ、「日吉神社のつつじ」県観光名所として入選

昭和20年4月 町花であるつつじは昭和園、日吉神社、大松山公園などを中心に、40～50万本が植えられ、毎年、花の季節には町をあげて「つつじ祭り」が開かれた。

昭和24年4月 花祭り（つつじ祭）年中行事にきまる

【唄の歴史のまとめ】

大津町史

昭和12年

「大津小唄」ができる

作詞…龍瞻寺保 作曲…レイモンド服部 唄…伊沢 寛

昭和26年4月

「つつじ音頭」…当選者、歌詞発表（後につつじ小唄）

昭和28年1月

「つつじ小唄」レコード化

作詞…鈴木政輝 作曲…妻城良夫 唄…白川みゆき

「大津小唄」…レコード化 昭和12年当時

広報おおづまち

昭和44年2月

大津町郷土民謡歌詞募集

4月

大津町民謡歌詞 審査の結果 入選…猿渡悦二

7月

レコード完成

○「花の大津」

作詞…猿渡悦二 作曲…岩代浩一 唄…水前寺清子

○「大津音頭」

作詞…中沢昭二 作曲…岩代浩一 唄…肥後邦子

○「大津馬子唄」

作詞…沢健二郎 作曲…岩代浩一 唄…忍 直樹

○「大津小唄」…昭和12年当時

昭和12年「大津小唄」ができる

作詞：龍膽寺保 作曲：レイモンド服部 唄：伊沢 寛

大津町史

龍膽寺保 作詩・レイモンド服部 作曲

大津小唄

唄 伊沢 寛

伴奏 コロナオーケストラ

一、日吉つつじの色香も燃えて

阿蘇の煙は誰故なびく
うらゝ菜の花いま春がすみ

大津絵になる唄になる

ヤンレ 唄になる

ハヤシ『肥後の殿さまこれ見て泊る

ヨイヨイヨイトコ 肥後大津』

三、聖上のお成りに光をまして

名さへゆかしいあの昭和園
庭に開いた百千の花も

千代に八千代の綾錦

ヤンレ 綾錦

ハヤシ『肥後の大津か大津の肥後か

ヨイヨイヨイトコ 肥後大津』

二、城跡は舞鶴十文字山に

偲ぶ昔は清正さまよ

あれは堀川流れの末に

実る穂の波稲の波

ヤンレ 稲の波

ハヤシ『風はそよ／＼黄金がゆれる

ヨイヨイヨイトコ 肥後大津』

(二番は歌われていません)

四、馬場は恋しや大杉並木

みどり一刷毛うつすらぬって

浮名立つ風逢う瀬の宵は

とろり絵のよな月が出る

ヤンレ 月が出る

ハヤシ『下りや熊本上れば阿蘇よ

ヨイヨイヨイトコ 肥後大津』

つつじ音頭

當せん歌

募集中であつた「つつじ音頭」は応募六十三で公民館文化部で審査の結果左の通り決定した、當選者及び歌詞は次の通り

▲一等熊本市清水町室園鈴木政輝

▲佳作限府町城下金栗片詩熊本市明圓寺町米良志恵子

歌詞

(一)

杉の並木が假に明けりや
大津繪の町花の町
咲いたつつじは振袖小袖
燃えて五色のあで姿

(二)

日吉詣りの人波寄せて
ゆれる繪日傘乙女傘
つつじ簪あの娘にこの娘
夢は白川花咲かり

(三)

虹を一刷毛ぼかした空に
阿蘇の煙が歌を書く
花か珊瑚かつじの繪巻
夢を見るよな昭和國

昭和28年1月 「つつじ小唄」レコード化

作詞：鈴木政輝 作曲：妻城良夫 唄：白川みゆき

「大津小唄」：レコード化 昭和12年当時

大津弘報

つつじ小唄

レコード吹込

大津名所のつつじをたゞめる
「つつじ小唄」は龍膽寺保に
感した龍胆の鈴木政輝氏の当
時歌で、作詞は龍胆中央公
司の妻城良夫氏の製作中の傑
作といわれるほどで、町で
はこれを永久に又広く伝える
ため今龍胆寺保のレコードに
吹き込む事となり、大津レ
コードの名歌手に依頼して調
曲中で二月中旬には出来上る
見込で、三月中には各方面に
頒布するが、一枚約二百円で
、枚数に限りがあるため希望
者は龍胆寺保龍胆元町にまた
い。尚、同所はおなじみの「大
津小唄」が録音されている。

「つつじ小唄」

作 詞：鈴木 政輝
作 曲：妻城 良夫
唄：白川みゆき

「大津小唄」

作 詞：龍膽寺保
作 曲：レイモンド服部
唄：伊沢 寛



レコード提供：竹永 美重子 様 (藤間貴久満)

昭和44年2月 大津町郷土民謡歌詞募集

広報おおづまち

大津町郷土民謡歌詞募集

趣 旨

私達の郷土大津町を象徴する郷土の民謡を募集します。

これまで「大津音頭」「つゝし小唄」を持っておりすが今度は新しい時代に即応した感覚を以つて老人も小供も男女誰でもどこでも気軽に歌える歌詞をお願い致します。

歌 調

(1)自作未発表のもの
(2)親光と歴史の肥後大津を象徴し明るく軽快で誰でも容易に歌えるものであること

※一節四行以内で三節以上
(4)行進曲風にして勇ましく大津町の発展に寄與するもの

応募用紙

B四版四〇〇字詰原稿用紙縦書き
同じ型の原稿用紙に住所氏名年令職

業を明記すること。

封筒に「応募歌詞」と朱書きすること

応募先

大津町役場経済課「郷土民謡」係

締切日

昭和四十四年二月二十日

発 表

熊日及び大津広報で発表

賞 金

入選 一点 一〇,〇〇〇円

佳作 一点 三,〇〇〇円

審 査

町長が委嘱した審査員による

その他 募集作品はお返ししません

著作権は大津町役場に帰属します

入選作品は抽作することがあります

有名歌手によつてレコード化する予定です

一流録音家の振付にて踊りにもなります

昭和44年4月

大津町民謡歌詞 審査の結果 入選：猿渡悦二

広報おおづまち

大津町民謡歌詞

審査の結果

三月十五日午後一時より応募六十五篇の中から慎重に選考が行われた。

審査は氏名を明かにせず番号で公平に実施され、入選一篇佳作二篇を選んだ

審査委員は、末広熊日社会部副部長、

馬場十字屋社長、出田警察音楽隊長、

萩原順本放送第二製作部長、坂本町長

吉村公民館長、坂本婦人会長、商工会

から橋本堅 坂本明暢の諸氏であつた

入選 猿 渡 悦 二

(玉名市高瀬新町三二三)

佳作 芦田茂 (高槻市藤の里町二八

一二四)

西本周蔵(大津町大字大杉)

その他多数のご応募をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

昭和44年7月 レコード完成

広報おおづまち

花の大津

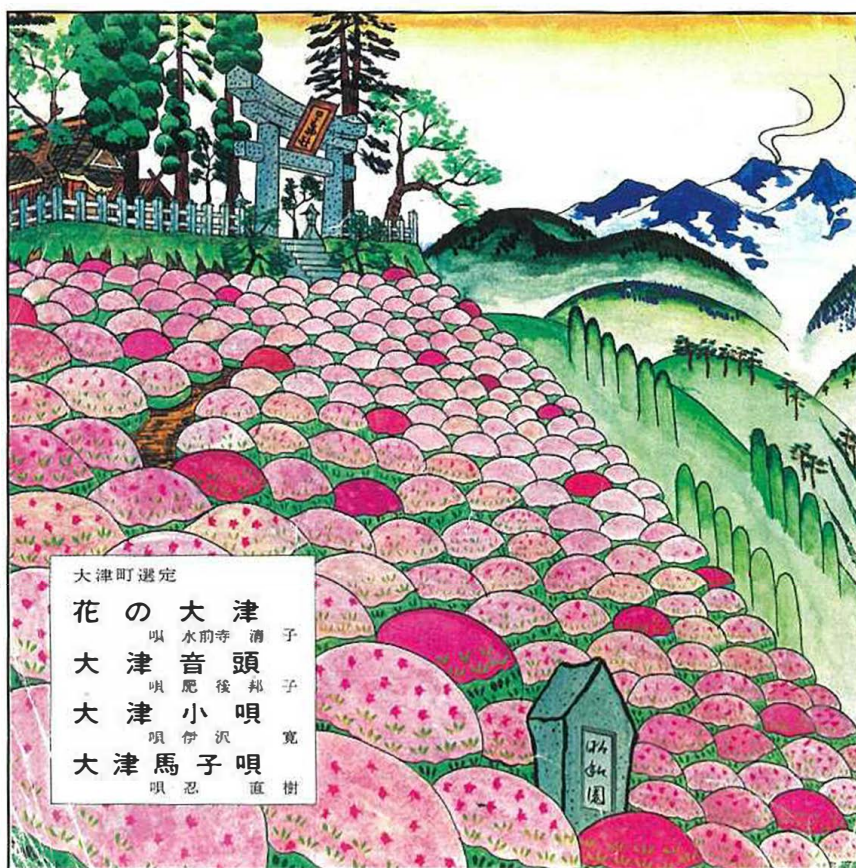
レコードできる

三月公募選定した花の大津
のレコードが出来上り町内
の舞踊関係者のご協力で振
舞も出来ました。

七月十五日頃レコードが到
着します

佐場経済課へ申込み下さい
価格五〇〇円で発売します

花の大津 水前寺清子
大津音頭 肥後 邦子



(振付) 大津日舞協会

繼發掘二作詩 中沢昭二補作
岩代浩一作曲

花の天津

唄 水前寺清子
伴奏 クラウン・オーケストラ

一、肥後の天津の槍立並木
参勤交代お駕籠で通る

いまじゃあなたと二人で通る
見せてやろうか銅銭糖の
甘い二人を離されましようか
梅も咲いたよ円満寺

二、肥後はよい国有明こえて
阿蘇の煙は誰故なびく

春もゆくかよつつじが咲いた
つつじや見頃よ私もみごろ
見せてやりたい白川そめて
天津娘の胸のうち

三、大津恋しやあの空みれば

山の夕陽が哀しめてならぬ
あの娘いまごろなにしておる
昔なじみの水月地蔵
ひとり月みてむかしをしのぶ
花の大津のふるさとで

中沢昭二作詩 岩代浩一作曲

大津音頭

唄 肥後邦子
伴奏 ラテンキングス

一、ハア
阿蘇の煙が南に靡く

おれとおまゑと結んでは
アイヤアイヤヨイヤサット 大津町
明日は晴れたととかれたよ
ソレヤレソレとかれたよ

二、ハア

今は昔の殿さんあそび
大津絵の町結んでは
アイヤアイヤヨイヤサット よか女
色はそめたととかれたよ
ソレヤレソレとかれたよ

三、ハア

日吉神社のつつじのまつり
大津育ちと結んでは
アイヤアイヤヨイヤサット 若者衆
いきな姿ととかれたよ
ソレヤレソレとかれたよ

四、ハア

大津娘のそろいのゆかた
はずむ太鼓と結んでは
アイヤアイヤヨイヤサット 盆おどり
おどれおどれととかれたよ
ソレヤレソレとかれたよ

大津町は日本一のつつじの里づくりを掲げ、その歴史は長く町の祭り一大イベントとして、大津町文化協会・会員は永きに渡り、祭り唄と踊りの継承に尽力してまいりました。

この度、協会員でもあり、民謡指導者・高見春代さんが祭り道中唄として古来から現存されていた4曲を新たに吹き替え、広く町民の皆様に親しんで戴く運びとなりました。どの曲も故郷大津町を紹介したなつかしい唄です。

令和5年、大津町文化協会は創立50周年を迎えますが、その節目にこの制作が若き世代に、町の歴史・名所を知って戴くきっかけとなり、大津町の活性化になるのではないかと思います。

11月の記念文化祭には、たくさんの方々にお越し戴きます様、会員一同お待ち致します。

高見春代さんの今後の文化継承に御期待致しますと共に、益々の御活躍を御祈念申し上げます。

令和5年1月 吉日

監修 大津町文化協会会長 本田ヤス子

高見春代 プロフィール

<経歴> 民謡歴50年

平成23年6月 一般財団法人 郷土民謡協会
火の国ふる里支部 火の国ふる里会発足
平成24年2月 公認教授 認定
平成29年10月 名誉教授 認定
令和5年2月 郷民賞 受章

<受賞歴>

平成12年7月 (財)日本民謡協会創立50周年民謡民舞全国記念大会
於 東京NHKホール

内閣総理大臣賞受賞

内閣総理大臣賞争奪戦

全国連合会代表者・部門別優勝者戦

内閣総理大臣賞

(牛深ハイヤ節) 日本民謡協会賞

日本放送協会賞

東京都教育委員会賞

梅宴の部

農林水産大臣賞

(牛深ハイヤ節) 労働大臣賞

日本民謡協会賞

各地の民謡全国大会優勝、グランプリ、106回 (R4.12現在)
大会優勝曲目 50曲

民謡は心の故郷、その土地で生きている人々の想いが、心が、郷愁が
節々と唄われています。

時代の流れの中でも、民謡の楽しさ、素晴らしさを、一人でも多くの方
に感じて戴き、若き世代に継承して行けたらと思っています。



編集：高見 春代（菊池郡大津町引水 687）

協力：大津町歴史文化伝承館
日吉神社

監修：大津町文化協会